

2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日
東・名

上場会社名 日本エコシステム株式会社 上場取引所
コード番号 9249 URL <https://www.jp-eco.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 穰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 稲生篤彦 (TEL) 0586 - 64 - 9249
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	6,531	17.8	491	△12.9	518	△12.3	303	△61.6
2023年9月期第3四半期	5,543	0.2	564	△16.5	591	△19.0	788	90.1

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 312百万円(△63.4%) 2023年9月期第3四半期 853百万円(108.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	108.98	106.63
2023年9月期第3四半期	292.62	288.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	9,270	5,129	54.6
2023年9月期	8,373	4,538	53.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 5,056百万円 2023年9月期 4,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	25.00	—	26.00	51.00
2024年9月期	—	26.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,133	20.5	806	26.8	839	22.5	552	△36.8	204.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年9月期3Q	2,863,400株	2023年9月期	2,697,600株
2024年9月期3Q	一株	2023年9月期	一株
2024年9月期3Q	2,780,616株	2023年9月期3Q	2,695,852株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11
(1株当たり情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は以下のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境が改善するもとの、各種政策の効果もあり緩やかな景気回復傾向にある一方で、円安に起因する物価上昇や中国経済の不確実性等、海外経済の下振れによる我が国の景気を下押しする影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「交通インフラ事業」にて収益基盤を構築、事業の裾野を拡大し、「公共サービス事業」で公営競技及びファシリティを中心とした事業規模の拡大を図り、これらの技術、収益を基盤にして「環境事業」を推進するべく取り組んでまいりました。

また、当社グループ成長戦略としてM&A・人材強化等の成長投資及び株主還元施策の実施を積極的に行った結果、販売費及び一般管理費が増加し営業利益は減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,531百万円(前年同期比17.8%増)、営業利益491百万円(前年同期比12.9%減)、経常利益518百万円(前年同期比12.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益303百万円(前年同期比61.6%減)となりました。

セグメント別の状況は、以下の通りであります。

<公共サービス事業>

公共サービス事業におきましては、公営競技を中心とした施設の機器設置・保守・運営に関する事業及びファシリティに関する事業を行っております。第1四半期連結会計期間において、当セグメントにおけるグループ内企業再編として、オー・ティー・エス技術サービス株式会社とサテライト一宮株式会社を2023年10月1日に合併し、OTS株式会社に社名変更いたしました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は3,116百万円(前年同期比16.7%増)、セグメント利益は481百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

<環境事業>

環境事業におきましては、排水浄化処理及び水循環に関する事業及び再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務並びに自社設備による売電に関わる事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間において排水浄化処理及び水循環に関する事業では、引き続き受注機会の拡大が図られております。一方で、再生可能エネルギー発電設備の受注工事の施工については前年同期に比較し、施工金額が減少いたしました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は658百万円(前年同期比11.2%増)、セグメント利益は83百万円(前年同期比55.4%増)となりました。

<交通インフラ事業>

交通インフラ事業におきましては、高速道路を中心とした道路エンジニアリング・道路メンテナンスに関する事業を展開しております。当第3四半期連結累計期間において主要顧客である高速道路運営事業者からの電気通信設備・構造物の点検・保守、高速道路の維持管理等の業務が堅調でありました。また、前連結会計年度においてグループ化した株式会社興電社、及び株式会社テッククリエイトが業績に寄与いたしました。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は2,481百万円(前年同期比18.3%増)、セグメント利益は569百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

<その他事業>

その他事業におきましては、経営コンサルティングに関わる事業、システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産売買、賃貸等不動産に関わる事業を展開しております。

以上の結果、セグメント売上高(外部売上高)は275百万円(前年同期比50.3%増)、セグメント利益は24百万円(前年同期比100.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より896百万円増加して、9,270百万円となりました。

流動資産残高は、前連結会計年度末に比べて647百万円増加し、4,472百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が317百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が356百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて249百万円増加し、4,797百万円となりました。この主な要因は、減価却累計額が27百万円増加した一方で、建物及び構築物が177百万円、土地が91百万円増加したこと等により有形固定資産が181百万円増加したことによるものであります。

繰延資産の残高は、前連結会計年度末に比べて0百万円減少し、1百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて456百万円増加し、2,834百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が109百万円、短期借入金が500百万円増加した一方、未払法人税等が129百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて151百万円減少し、1,305百万円となりました。この主な要因は長期借入金が81百万円、社債が28百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて591百万円増加し、5,129百万円となりました。この主な要因は、新株予約権行使により資本金222百万円、資本剰余金222百万円それぞれ増加したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益303百万円の計上等により利益剰余金が158百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末より1.4ポイント上昇し、54.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,070,500	2,388,449
電子記録債権	101,395	68,294
受取手形、売掛金及び契約資産	1,054,946	1,411,290
棚卸資産	389,526	411,891
その他	208,089	192,105
流動資産合計	3,824,457	4,472,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,065,180	2,242,932
機械装置及び運搬具	1,790,986	1,840,065
工具、器具及び備品	877,807	890,802
土地	1,684,288	1,775,726
その他	323,432	200,400
減価償却累計額	△2,984,147	△3,011,213
有形固定資産合計	3,757,547	3,938,714
無形固定資産		
のれん	63,823	92,944
その他	125,803	85,860
無形固定資産合計	189,626	178,804
投資その他の資産	600,641	679,591
固定資産合計	4,547,816	4,797,110
繰延資産	1,470	1,103
資産合計	8,373,744	9,270,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	300,800	410,388
電子記録債務	56,826	12,056
短期借入金	310,000	810,000
1年内償還予定の社債	62,000	57,000
1年内返済予定の長期借入金	481,775	497,682
賞与引当金	20,901	72,499
未払法人税等	257,123	127,878
その他	889,120	847,348
流動負債合計	2,378,548	2,834,852
固定負債		
社債	115,000	86,500
長期借入金	1,080,867	999,269
退職給付に係る負債	57,804	51,052
資産除去債務	98,152	98,691
その他	104,990	70,088
固定負債合計	1,456,813	1,305,602
負債合計	3,835,361	4,140,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	762,266	984,597
資本剰余金	673,377	895,708
利益剰余金	3,002,038	3,160,481
株主資本合計	4,437,682	5,040,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,198	16,195
その他の包括利益累計額合計	19,198	16,195
新株予約権	1,361	—
非支配株主持分	80,140	72,807
純資産合計	4,538,382	5,129,789
負債純資産合計	8,373,744	9,270,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,543,177	6,531,236
売上原価	3,876,407	4,665,125
売上総利益	1,666,769	1,866,111
販売費及び一般管理費	1,102,051	1,374,407
営業利益	564,717	491,703
営業外収益		
固定資産売却益	8,071	9,075
補助金収入	9,315	10,171
債務勘定整理益	—	8,563
保険解約返戻金	10,390	8,731
その他	15,967	18,148
営業外収益合計	43,744	54,690
営業外費用		
支払利息	6,889	7,930
匿名組合投資損失	5,323	—
株式交付費	—	12,825
その他	4,866	6,837
営業外費用合計	17,079	27,592
経常利益	591,382	518,801
特別利益		
固定資産売却益	428,136	21,520
負ののれん発生益	191,387	—
その他	1,224	—
特別利益合計	620,748	21,520
特別損失		
減損損失	22,896	—
固定資産除却損	—	3,672
固定資産処分損	34,013	—
その他	2,252	—
特別損失合計	59,162	3,672
税金等調整前四半期純利益	1,152,968	536,649
法人税等	351,756	220,952
四半期純利益	801,211	315,696
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,351	12,666
親会社株主に帰属する四半期純利益	788,860	303,029

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	801,211	315,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,255	△3,003
その他の包括利益合計	52,255	△3,003
四半期包括利益	853,467	312,693
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	841,115	300,026
非支配株主に係る四半期包括利益	12,351	12,666

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第2四半期連結会計期間において行われた新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ222,330千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金984,597千円、資本剰余金895,708千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	公共サービ ス事業	環境事業	交通インフ ラ事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,670,896	591,840	2,097,266	5,360,003	183,173	—	5,543,177
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,440	1,901	5,550	28,892	13,210	△42,102	—
計	2,692,336	593,742	2,102,817	5,388,895	196,384	△42,102	5,543,177
セグメント利益	463,843	53,708	558,930	1,076,483	12,450	△524,215	564,717

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

2. セグメント利益の調整額△524,215千円にはセグメント間取引消去等1,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△526,015千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「環境事業」セグメントにおいて、第2四半期会計期間に製造設備の減損損失を計上しております。なお、減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において22,896千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「公共サービス事業」セグメントにおいて、第1四半期会計期間にオー・ティー・エス技術サービス株式会社、第2四半期会計期間に葵電気工業株式会社及び当第3四半期会計期間に村川設備工業株式会社の株式を取得し、連結子会社化したことにより、負ののれんが発生しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において負ののれん発生益を191,387千円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	公共サービ ス事業	環境事業	交通インフ ラ事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,116,298	658,049	2,481,559	6,255,907	275,329	—	6,531,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,702	48	10,182	32,933	12,545	△45,479	—
計	3,139,001	658,097	2,491,742	6,288,841	287,875	△45,479	6,531,236
セグメント利益	481,825	83,483	569,525	1,134,835	24,940	△668,072	491,703

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである経営コンサルティングに関わる事業、システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

2. セグメント利益の調整額△668,072千円にはセグメント間取引消去等3,257千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△671,329千円が含まれております。なお、全社費用の主な内容については、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「公共サービス事業」セグメントにおいて、第2四半期連結会計期間に株式会社エコベン株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴いのれんが49,706千円発生し増加しております。

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	245,944千円	236,863千円
のれんの償却額	2,480 "	37,563 "

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	公共サービス事業	環境事業	交通インフラ事業	計		
一時点で移転される財	2,364,400	299,904	2,024,353	4,688,658	155,020	4,843,679
一定の期間にわたり移転される財	294,462	291,935	72,913	659,311	11,983	671,295
顧客との契約から生じる収益	2,658,863	591,840	2,097,266	5,347,970	167,004	5,514,974
その他の収益	12,033	—	—	12,033	16,169	28,202
外部顧客への売上高	2,670,896	591,840	2,097,266	5,360,003	183,173	5,543,177

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであるシステム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	公共サービス事業	環境事業	交通インフラ事業	計		
一時点で移転される財	2,531,171	514,946	2,219,211	5,265,329	252,978	5,518,308
一定の期間にわたり移転される財	583,608	143,103	257,777	984,488	17,211	1,001,699
顧客との契約から生じる収益	3,114,779	658,049	2,476,989	6,249,817	270,189	6,520,007
その他の収益	1,518	—	4,570	6,089	5,139	11,229
外部顧客への売上高	3,116,298	658,049	2,481,559	6,255,907	275,329	6,531,236

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである経営コンサルティングに関わる事業、システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業及び不動産売買、賃貸等不動産に関わる事業であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	292円62銭	108円98銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	788,860	303,029
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	788,860	303,029
普通株式の期中平均株式数(株)	2,695,852	2,780,616
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	288円33銭	106円63銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	40,084	61,308
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—